

Mon, Nov 2 2020

量子化学探索研究所 (IQCE) は、人類がかかえる様々な問題の解決に向けて量子化学に基づく探索研究を普及・発展させることを目的に 2013 年に発足し、シンポジウム開催や研究助成をはじめとして様々な事業に取り組んでおります。

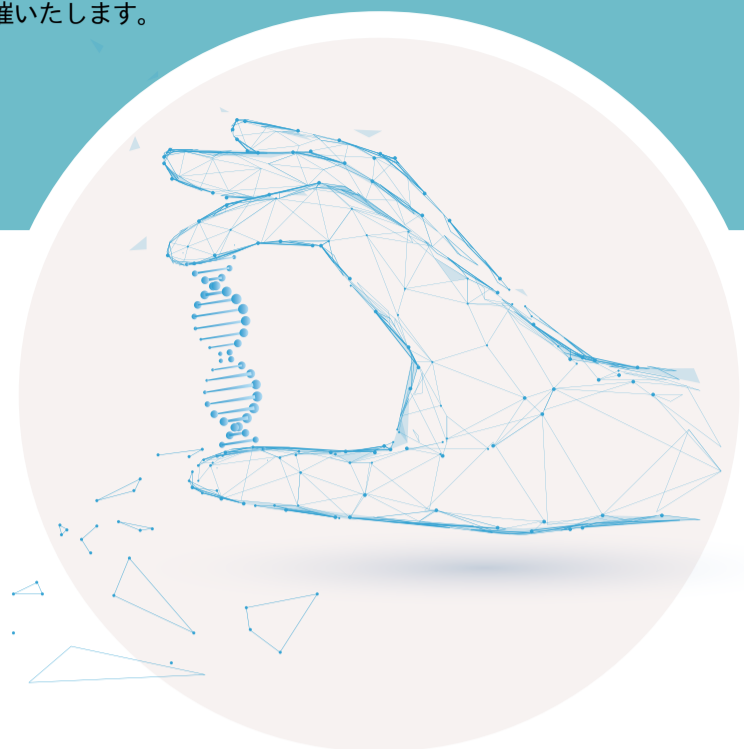
その活動の一環として、量子化学探索に関わる先端研究を展開しておられる方を講師にお迎えし、下記の内容で講演会を開催いたします。

日時：2020 年 11 月 2 日 (月) 13:00 ~ 17:20

開催方式：Zoom 利用による電子講演会

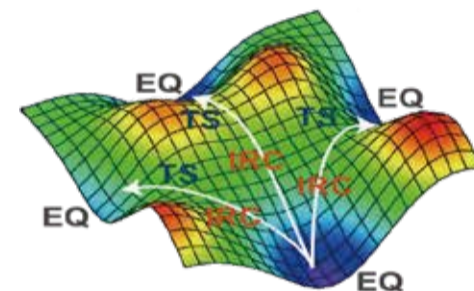
主催：特定非営利活動法人量子化学探索研究所
協賛：理論化学会、触媒学会、日本表面真空学会、有機合成化学協会
日本化学会、分子科学会

講演会参加費：無料



IQCE 量子化学探索講演会

「量子化学で探る化学の最先端」2020



プログラム：

13:00-13:10 大野 公一 (開会挨拶)

座長：武次徹也

13:10-13:35 前田 理 (北海道大)

「GRRM プログラムの新展開 2020」

13:35-14:00 高柳 敏幸 (埼玉大)

「スピン反転を含む反応経路の自動探索と量子ダイナミクス」

14:00-14:25 満田 祐樹 (筑波大)

「超球面探索法と分子動力学計算による自由エネルギー反応経路ネットワーク計算」

座長：重田育照

14:35-15:00 工藤 聡 (東京大)

「金属クラスター上での一酸化窒素の解離の反応障壁」

15:00-15:25 岩佐 豪 (北海道大)

「反応経路自動探索法を用いたクラスター触媒の理論研究」

座長：真船文隆

15:30-15:55 大田 慶次郎 (東北大)

「イオン移動度質量分析と量子化学計算による分子内長距離プロトン移動の反応経路探索」

15:55-16:20 山北 佳宏 (電通大)

「状態選択されたペンギンイオン化反応のトラジェクトリ解析：低温化学反応動力学へ向けて」

座長：高柳敏幸

16:25-16:50 波田 雅彦 (東京都立大)

「NMR の精密計算と電子 EDM 探査を目指した相対論的量子化学計算」

16:50-17:15 高橋 正彦 (東北大)

「超高分解能・超高感度電子運動量分光装置で切り拓きたい分子科学」

17:15 (閉会挨拶) 実行委員

参加申込

次の要領でお申込ください。

参加申込締切：2020 年 10 月 29 日 (木)

申込方法： <https://sites.google.com/edu.k.u-tokyo.ac.jp/iqce2020>

- ・予定人数 (100 名) に達した場合は、お断りすることがありますので、なるべくお早目にお申込みください。
- ・オンライン方式での Zoom 接続情報は、参加申込された方に、事前に電子メールでお知らせいたします。

実行委員 (世話人)：武次徹也 (北海道大学)、佐々木岳彦 (東京大学)、山門英雄 (和歌山大学)

<https://iqce.jp/>

特定非営利活動法人

量子化学探索研究所

Institute for Quantum Chemical Exploration

